

## PM2.5 の日平均値の累積度数分布

PM2.5 の濃度分布を特徴付けるための1つの方法として、日平均値の累積度数分布を作りその分布形を示した。ここでは、対数正規確率紙にプロットした。

図には、足立区綾瀬、多摩市愛宕、永代通り新川（2015年度までは京葉道路亀戸）、甲州街道国立のプロット（2014~2019年度）を示した。経年的に日平均値は低下傾向にあり、2019年度は2018年度に比べてさらに低下している。いずれの地点においても高濃度域で濃度低下が大きく、短期基準達成率の向上に寄与していると考えられる。

